



イベントへの出店

組合は全国各地で開催されるイベントに出店し、大崎町のPR活動を行っています。

東京都で開催された『品川夢さん橋』や横浜市で行われた『ふるさとチヨイス大感謝祭』などに出演し、町内の特産物などを販売。クイズなど売り方を工夫し、『大崎ファン』を多数獲得してきました。

事業者間でコラボ商品開発

新たな特産品として、組合が招聘したシェフの手により作りあげた、町内産マンゴーを使用したジェラートや、町内産の南高梅を使用した梅酒等を開発。

組合員の新規取引創出を促進することもできました。



▲昨年の品川夢さん橋の様子

繋がりが生んだ新しい動き

組合設立により、事業者同士の繋がりが生まれた事例もあります。

町内には加工原料にさつまいもを使用する業者が多数存在します。これまで加工のたびに発生する芋の廃棄残渣は業者の有料で回収してもらっていました。

酒造会社の天星酒造株式会社は、組合設立により、事業者同士の繋がりを生かし、廃棄する芋を町内の黒豚農家である小野ファームに無償提供するという取り組みが始まりました。

▲廃棄する芋を小野ファームの小野さん(右)に渡す
天星酒造(株)の高屋(左)さん



◀町内産の梅を使用した梅酒『紡』



▶町内産マンゴーの特製ジェラート

コロナ禍での取り組み

コロナ禍で売上が減少した生産者や事業者が多くいる中、組合では、地域内経済循環を目指し、錦江町の事業者有志とコラボした特産品の共同販売会を企画。

大崎町と錦江町で1回ずつ開催しました。

それぞれの町に無い特産品を相互に出張販売したところ大きな反響がありました。

事業者同士の繋がりが町内に留まらず、町外にも広がっています。

また、インターネットの特産品販売も今後行っていく予定です。



▶大崎町で開催された特産品フェアの様子

▲錦江町で開催された特産品フェアの様子



INTERVIEW



株式会社 JTB
(ふるさと納税サポート企業)
営業第三課 しまだ そうた
鳥田 聡太 さん (34)

大崎町の凄いところは、自治体様・事業者様が相互の利害関係なく一つの目標に対して一丸となって全力で取り組むことが出来る「チーム力」だと感じます。それを象徴するのが、『大崎町ふるさと特産品振興事業協同組合』の発足ですね。全国の自治体様と比べてみてもこれほどまでに事業者様間が協力し合って、ふるさと納税に取り組んでいる町は知りうる限りないです！